

# 全国市議会旬報

第2086号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

令和元年 (2019年) 6月5日  
 毎月3回5の日に発行  
 発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
 東京都千代田区平河町2-4-2  
 代表 TEL 03(3262)5234  
 旬報 TEL 03(3262)2309  
 発行人 滝本 純生  
<http://www.si-gichokai.jp>

## 山田会長 地方創生交付金 改善を 片山大臣 六団体意見交換



山田会長

第11回まち・ひと・しごと創生担当大臣と地方六団体の意見交換会が5月16日、中央合同庁舎8号館で開催された。本会からは山田一仁会長（札幌市議会議長）が出席し、片山さつき・まち・ひと・しごと創生担当大臣、舞立昇治・内閣府大臣政務官らと意見交換した。会議冒頭、片山大臣は「第一期まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年である今年、4年間の地方創生の取り組みの成果と課題を検証し、第二期へ繋げていく。これまでの議論を踏まえ、6月中に閣議決定予定である

新基本方針の骨格を示し、皆様のご意見をたまわりたい」と挨拶。その後、上田清司・全国知事会会長（埼玉県知事）の挨拶があり、▽まち・ひと・しごと創生基本方針2019の策定▽地方分権一括法案等について事務局からの説明に続き、意見交換を行った。意見交換では、山田会長が、地方創生関係交付金の改善、地方での人材育成に対する支援などを求めた。（左掲）



挨拶する片山大臣

### 山田会長発言要旨

地方創生関係交付金の改善について。地方創生関係交付金は制約が多く、特に地方創生拠点整備交付金は、事業の翌年度への繰越に制約があり、複数年にわたる事業が困難である。そのような使い勝手の悪さもあり、地方創生推進交付金（1,000億円）、拠点整備交付金（600億円）ともに半分程度しか執行されていない。札幌市の場合、推進交付金のみを活用し、拠点整備交付金は受け取っていない現状がある。翌年度繰越への条件を緩和し、複数年にわたる事業を可能にしていきたい。

また、人材づくりでは、地方自治体が地元精通した人材を育成していくのが理想である。国も、地方創生コンシェルジュ制度で国の職員等を派遣しているが、十分ではなく、自治体自身が人材を育成できるシステムを構築しなくてはならない。国は地方に対し、さらなる人材・財政両面の支援をお願いしたい。

技術者不足について。昨今の公共事業の予算減額と相まって、技術者の育成が自治体にとって難しくなっている。上下水道など公共施設の老朽化対策が技術者の人材不足で進展しないという実態を踏まえ、人材づくりにご協力いただきたい。



舞立政務官

**四国 北海道 地方部会総会**

四国市議会議長会は、5月23日、定期総会を開催。新会長には、小比賀勝博高松市議会議長を選任した。

**各県提出議案**

①マイナナンバーカードの普及促進策の充実強化②独立行政法人国立病院機構の機能強化及び充実③公共交通に係る財政支援の拡充（以上、徳島県）④保育

士のさらなる処遇改善⑤体育館への空調設備設置⑥橋梁修繕事業に係る財政措置の拡充（以上、香川県）⑦平成30年7月豪雨に係る事業の拡充⑧幼稚園・小学校・中学校ブックス・冷房設備対策事業の円滑な実施⑨防災重点ため池改修に係る財政支援（以上、愛媛県）⑩妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進⑪緊急防災・減災事業債制度の期間延長⑫水道事業に対する財政支援の採択基準等の撤廃及び緩和（以上、高知県）



小比賀四国議会議長会会長（高松市）



第81回 四国市議会議長会定期総会  
 四国議会議長会総会の模様【写真提供=高松市】

北海道市議会議長会

北海道市議会議長会は、5月28日、室蘭市で定期総会を開催。新会長には、



山田北海道議長会会長 (札幌市)

引き続き、山田一仁札幌市議会議長を選任した。

支部提出議案

- ①北海道新幹線の建設促進(道西支部)
- ②並行在来線への支援措置(道南支部)
- ③有害鳥獣対策の充実強化(道央支部)
- ④北方領土問題の早期解決
- ⑤地域医療体制の充実
- ⑥北海道の道路整備



北海道市議会議長会の模様 【写真提供=室蘭市】

(以上、道東支部) ⑦未利用国有地の地域限定雪堆積場としての活用(道北支部)

城陽市 歴史と未来をつなぐまち

現在の本会の近畿部会長市である城陽市は、京都市と奈良市の中間にあり、それぞれから五里(20km)の位置にあることから、「五里五里のさと」と呼ばれ、多くの歴史とともに、交通の要衝として発展してきた。

新しいまちづくり



京都府南部最大級「久津川車塚古墳」 【写真提供=城陽市】

鎌倉時代の仏像など古い歴史を持つ一方で、令和5年度には新名神高速道路の全線開通を予定。市内には一般のインターチェンジ(IC)のほか、スマートICの設置が計



屋内にテントを設営したLOGOS LANDの全天候型キャンブルーム 【写真提供=城陽市】

画されており、近畿と中部をつなぐ要としてのまちづくりが進められる。同年には、東京ドーム約6個分の大きさの京都府内初のアウトレットモール開業を目指している。また、去年6月には、城陽市とアウトドアブランドがコラボレーション

した「LOGOS LAND II ロゴスランド」が誕生。ふわふわドーム(乳幼児用大型トランポリン)のある公園内に全国的にも珍しい全天候型のキャンプスタイルに対応した宿泊施設をオープンし、好評を得ている。さらに、今夏にはカフェを併設した新たな宿泊施設やバーベキューエリアもオープン予定でより魅力ある施設づくりを目指している。

こうした新しいまちづくりを中心に、「新しい城陽」NEW城陽の実現へ官民一体で取り組んでいる。

お茶 梅 イチジクが名産

市の名産は、お茶、梅、イチジク。市内を流れる木津川の清流沿いには茶園が広がる。味、色、香り全てにおいて日本最高水準で、全国茶品評会では、これまで幾度となくてん茶(抹茶の原料)部



城陽市内に広がる茶畑 【写真提供=城陽市】

門で「産地賞」日本一に輝いている。城州白という品種を中心とした青梅の生産量は京都府一を誇り、豊かな香りと肉付きで評判が高く、梅干しのほか、梅酒や和菓子などにも使われている。また、大粒の完熟イチジクは、品質への高い評価から、関西一円でブランドが確立されており、市の公式キャラクターのモチーフにもなっている。

議長談話

城陽市は、新名神高速



熊谷佐和美 城陽市議会議長

道路の全線開通を核とした、新しいまちづくりが進められています。府下最大の面積を誇る青谷梅林や、四季折々の花木を楽しめる鴻ノ巣山など、豊かな自然も感じていただけます。

また、秋には城陽秋花火大会、そして冬には光のページェント-TWINKLE JOYO-など、魅力あるイベントも開催しており、どの季節にもお越しいただけます。心よりお待ちしております。



光のページェント - TWINKLE JOYO-の模様 【写真提供=(社)城陽観光協会】

6月5日現在の市区数

指定都市	20市
中核市	58市
施行時特例市	27市
一般市	687市
特別区	23区
計	815

# 岡山市 桃太郎と名園のまち



中国部会長の部会長市である岡山市。旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並みが広がる。平成21年4月1日、全国で18番目の政令指定都市に移行した。

## 桃太郎の世界 至る所で

岡山といえば桃太郎伝説。岡山市民のシンボリック存在だ。その物語は、「桃を自分の守り神とし、桃太郎と呼ばれていたイサセリヒコという皇子が、吉備の国の村人を鬼たちが襲っているとの噂を聞き、仲間とともに鬼の首領・温羅を倒す。しかし、温羅が村人の幸せを願い、村人を助けていた本当の姿を桃太郎は知る。桃太



岡山駅東口の桃太郎像  
【写真提供 = 岡山市】

郎は温羅の意思を引き継ぎ、吉備の国の人々のために身を尽くすことを決意。吉備の2文字を取って『吉備津彦』と改名し、吉備の国の反映と安泰のために一生を捧げた」というものだ(諸説あり)。市内には吉備津彦神社や吉備津神社など桃太郎まつわる旧跡が多く残る。岡山駅東口では桃太郎像が出迎え、桃太郎大通りを歩けば、幼い「ももたろう」だけでなくイヌ、サル、キジの銅像が建っている。他にも、マンホ



岡山城と岡山後楽園  
【写真提供 = 岡山市】

## 近世城郭の先駆けと 日本三名園の一つ

慶長2年(1597年)に豊臣家五大老の一人、宇喜多秀家が築城した岡山城天守閣。織田信長の安土城天守閣を模して築かれたと伝えられ、天守台の形は全国的にも珍しい不等辺五角形。岡山城は豊臣秀吉の大阪城、毛利輝元の広島城と並び、近世城郭の先駆けとなった。黒い板張りの外観から「烏城」とも呼ばれている。天守閣は戦災で焼失

し、現在は再建されたもの。岡山後楽園は金沢の兼六園、水戸の偕楽園と並ぶ日本三名園の一つ。約300年前に岡山藩2代藩主池田綱政が、安息

の場として家臣の津田永忠に造らせた。網政時代には、座敷から展望を楽しむ庭だったが、子の継政の頃には庭を巡り歩いても楽しい回遊性が備わるなど、時代ごとに景観が変化し、その積み重ねが現在に至っている。

昭和9年には水害、20年には戦災に遭ったものの、江戸時代の絵図などを基に復旧が図られ、姿を大きく変えることなく今日に受け継がれている。27年には



新鮮な果実を使ったフルーツパフェ  
【写真提供 = 岡山市】

国の特別名勝に指定された。

## 桃 ブドウ 梨 フルーツの国

「晴れの国・おかやま」は昔から農作物に恵まれた地域。桃やブドウ、梨など「フルーツの国」としても知られる。一年を通じてたくさんのお物が収穫されることから、「フルーツパフェの街おかやま」プロジェクトが平成21年度にスタート。パフェになった理由は、新鮮な果実を生のかき、ゼリーやアイス、ジェラート、ジュースなどにアレンジできるからだ。パフェはフランス語で「パルフェ」、「完全な」という意味を持つ。本格的な果物スイーツである夏には、ブドウ

新しい時代「令和」の最初の年に、政令指定都市移行10年、市政施行130周年という節目を迎えた本市は、晴れの国おかやまと言われるように、瀬戸内特有の温暖な気候と豊かな自然から生まれる食材に恵まれております。また、岡山城や岡山後楽園、日本遺産の吉備津神社などを有するとともに、海の幸、山の幸をご堪能いただけますので、ぜひお立ち寄りくださるよう市議会を挙げてお待ちしております。

## 議長 談話



浦上雅彦岡山市議会議長

ウ・桃・メロンなどの旬の果物をたっぷり使った新しく独創的なフルーツパフェが食べられる。

# 食品ロスの削減 妊婦への医療充実

## 意見書・決議 2月～4月

2月から4月に全国の市議会でも可決した意見書

・決議のうち、本会に報告のあった件数を取りまとめた。件数の多い順に主な内容を紹介する。

### 食品ロス削減へさらなる取り組み

## 議会



意見書・決議で最多だったのが「食品ロス削減に向けてのさらなる取り組み」で74件。意見書では、27年度に国内で発生した食品ロスの量が年間約64.6万トンに上ることに触れ、国民一人一人が各々の立場において主体的に課題に取り組み、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着を図り、

社会全体で対応していくことが重要としている。その上で①国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を総合的に推進するため、法律の制定を含めたより一層の取り組みの実施②商慣習の見直し等による食品関連事業者の廃棄抑制や消費者への普及・啓発、学校等における食育・環境教育の実施など、食品ロスの削減に向けた国民運動のさらなる強化③賞味期限内の未利用食品や備蓄品等を必要とする人に

届けるフードバンクなどの取り組みへのさらなる支援—を求めている。

### 妊婦への医療充実 健康管理の推進

「妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進」は68件。意見書では、妊婦加算制度の問題点と厚労省における妊婦加算制度凍結の告示、中央社会保険医療協議会における妊婦への総合的な支援に向けた議論について触れ、①医療現場で妊婦が安心して外来診療を受けられるよう、特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、医師の教育や研修体制の整備②保健や予防の観点を含め、妊婦自身が特有の合併症や疾患、投薬の注意などについて、予め知識を得ることができる体制の整備③妊婦加算の見直しにあたる、妊婦が加算分を自己負担することの影響にも十分配慮しつつ開かれた国民的議論

の実施—を求めている。

### UR賃貸住宅 ストックの活用

「UR賃貸住宅ストックの活用」は28件。全ての意見書で、①令和15年度までの250程度の団地における地域医療福祉拠点整備の着実な進展②団地機能の多様化に伴う高齢者や子育て支援施設の整備③健康寿命サポート住宅供給の拡充④UR賃貸住宅ストックの活用にあたって、地方公共団体や地域関係者との連携を図るとともに、住民の意見を丁寧に取り取り居住の安定確保を図る—などを求めている。

### 放課後児童クラブの 質の確保

「放課後児童クラブの質の確保」は22件。ほぼ全ての意見書で、①国において、児童の安全を確保するため、放課後児童クラブの職員配置基準等に係る「従うべき基準」の堅持②放課後学童支援

## 2月から4月に可決した意見書・決議の議決状況

件名	意見書	決議
○食品ロス削減に向けてのさらなる取り組み	74	—
○妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進	68	—
○UR賃貸住宅ストックの活用	28	—
○放課後児童クラブの質の確保	22	—
○農林水産物・食品の輸出力強化	22	—
○地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定	17	—
○幼児教育・保育の無償化など	15	—
○天皇陛下御即位30年を祝す賀詞	—	13
○児童虐待防止対策のさらなる強化	12	—
○統計不正問題の徹底究明	12	—
○全国知事会「米軍基地負担に関する提言」の推進	12	—
【小計】	282	13
○その他	234	18
【総合計】	516	31

※件名は代表的なもので、同内容のものも含めている  
※意見書・決議の件数が多い順に掲載

※「本会に報告のあった件数」とは、各市区議会から本会ホームページのメンバーのページのオンライン調査・回答システムに入力されたもののほか、郵便などで受け付けたものです。なお、各市区議会から本会ホームページのオンライン調査・回答システムに入力された意見書・決議（平成16年以降のもの）は、メンバーのページから検索し、閲覧できます。

## 議会人事

- ▼議長 福岡憲宏(4・11)
- ▼香芝 福南憲宏(4・11)
- ▼真庭 古南源二(4・17)
- ▼静岡 遠藤裕孝(4・25)
- ▼新見 藤澤正則(4・25)
- ▼副議長
- ▼香芝 上田井良二(4・11)
- ▼真庭 緒形 尚(4・17)
- ▼静岡 亀澤敏之(4・25)
- ▼新見 石田 實(4・25)
- ▼事務局長
- ▼岩沼 大元利之(4・1)
- ▼真庭 河本京子(4・1)